

3000 のビッグテーブルの誕生まで

山梨県富士吉田市の萱沼様より飲食店舗家具の打ち合わせを依頼されて伺いました。現場は、床の仕上げを残すのみで大体仕上がっていました。ただ、そこに丸柱が2本有り、これがテーブルの形状に深く関わって来ました。まず、現状を採寸して要望に対してどんなレイアウトが可能か検討に入りました。



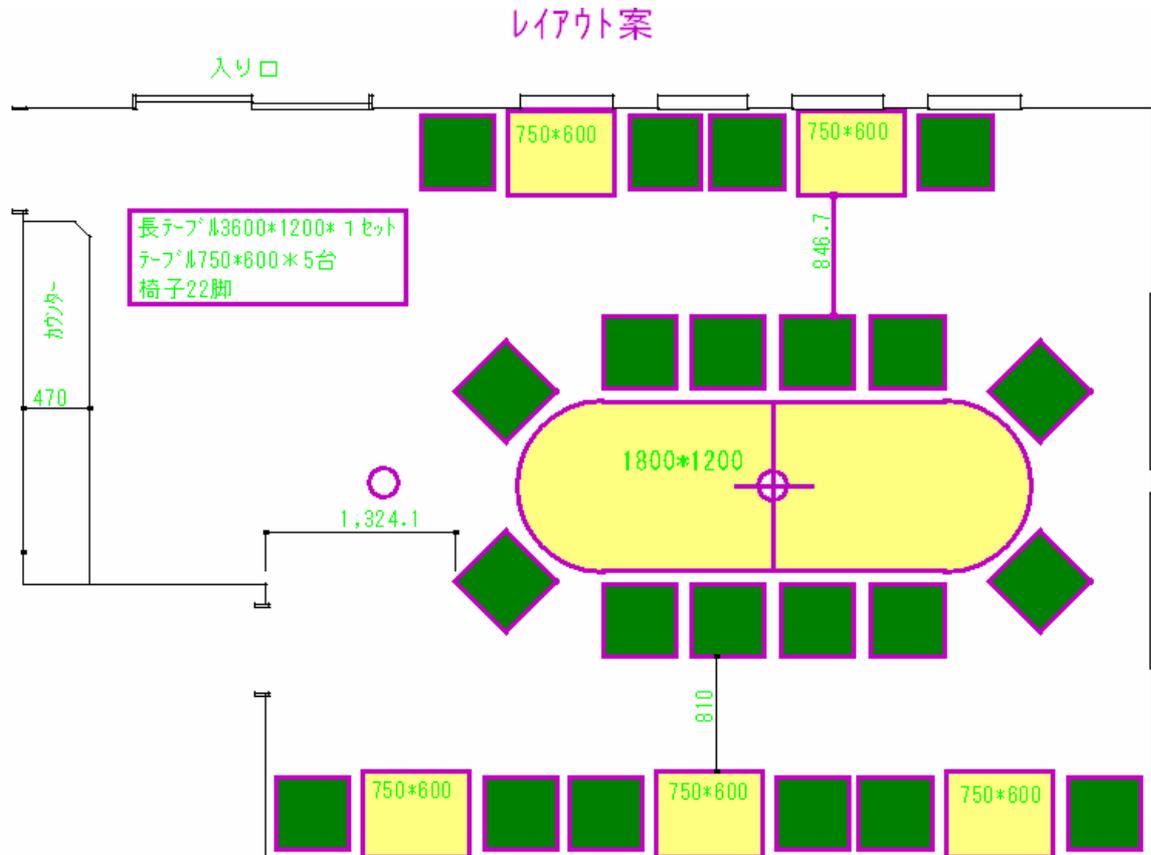
採寸時現況です。



羽目板は、明るいパイン無垢板です。

オーナー要望事項

1. 丸柱を入れ込んだ3600*1200の楕円風テーブルをメインテーブルとして配置し、残りのスペースに2人掛けテーブルを配置したい。
2. テーブル素材は傷つきにくいメラミン板で木口は無垢面材を貼り付けて色合い、素材は、羽目板のパイン材に合わせたい。

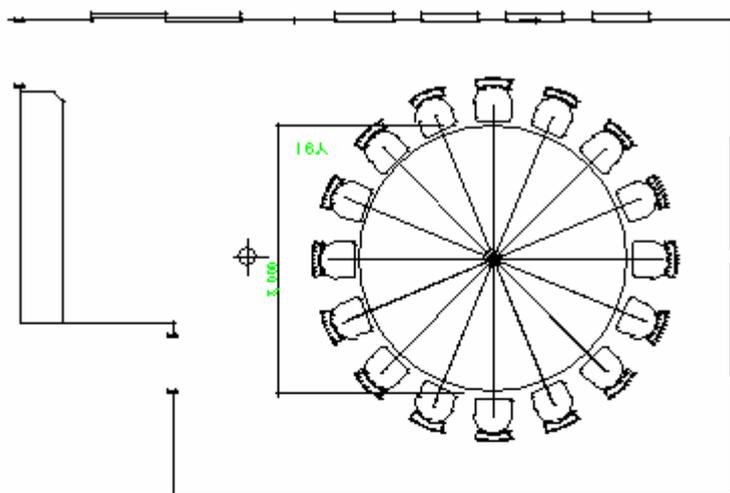


このレイアウト案を持って再度打ち合わせに伺い、テーブルの原寸をプロットしてみました。これで、大体確定できるものと思いましたが、オーナーの萱沼様は、テーブルが小さすぎるとの判断で、2人掛けテーブルをやめて直径の大きいテーブルのみに変更したいと提案してきました。そこで、現場に要望サイズをプロットした結果、3000で決まり、素材、製作方法を再検討しなければならなくなりました。

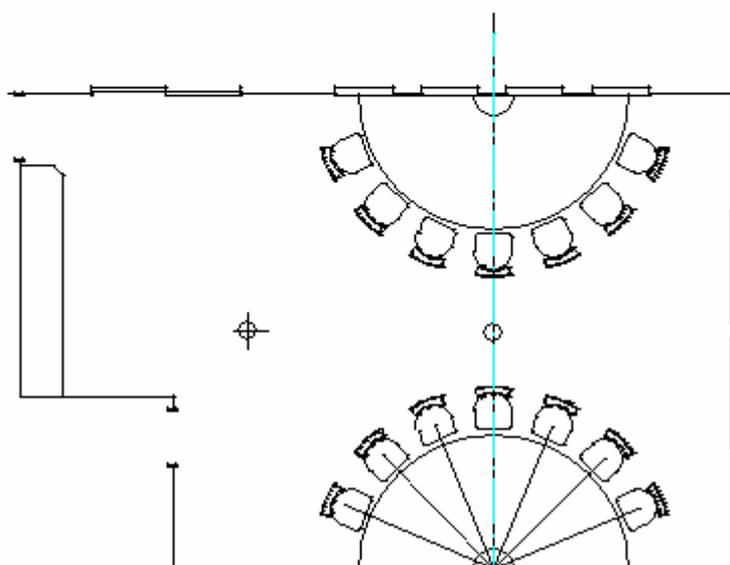
まず、3000テーブルの製作図面を書き上げることにして、家具工場とうちあわせに入りました。

製作条件

1. 天板分割 2 分割で納品したい。メラミン板 $1200 * 2400$ だと分割が 4 分割以上となり継ぎ目ばかりが目立つのでメラミンは中止しました。そこでゴムの集成板で検討しました。集成材幅広 $W1200 * 4200 * t36$ が岐阜のファイン工業さんで用意出来るとのことでこの板を剥ぎ加工して $W1500$ 以上の幅を確保しました。その板を牧野工匠さんで NC 加工し 2 分割の円盤に仕上げてもらいました。
2. 脚の製作も 2 分割で座って出来るだけ足元に支障ない様に均等の位置に三角形のトラスを組んで荷重を均等にうけるように配置しました。
3. 基本は円テーブルとして考えていますが、レイアウト変更として半円としてでも使用出来るように、天板接合面は脱着可能としました。



円テーブル



半円テーブルレイアウト

天板, 脚板取図
マルチ支給材

ファイン工業

- ｺﾞﾙﾌ集成材
- 1200*3100*t36 * 2枚
- 500*3100*T36*2枚
- φ90棒*4000*2本

脚幕板

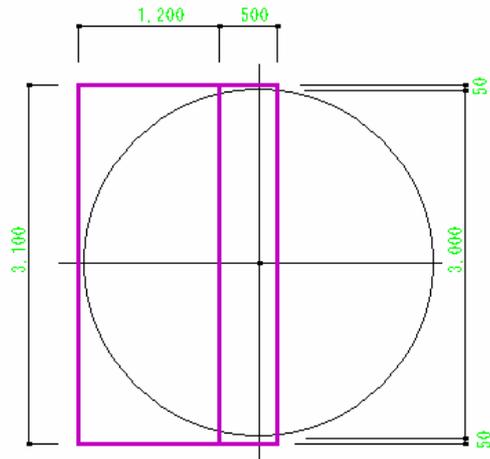
1200*70*t30*14本

ｼﾞｮｲﾝﾄ部

1400*70*t30*4本

ｺﾞﾙﾌ集成材
3000*450*t30 * 1枚

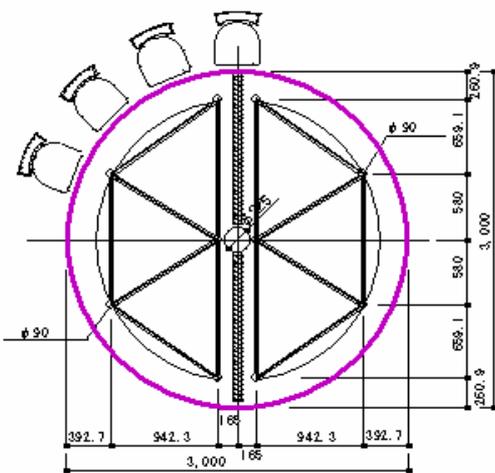
ｺﾞﾙﾌ集成材
2000*450*t30*1枚



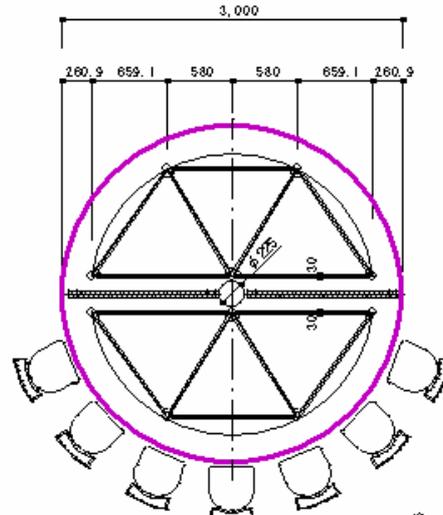
壹沼様 店舗φ3000テーブル

≒1/30

平面図

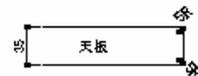


内部平面図

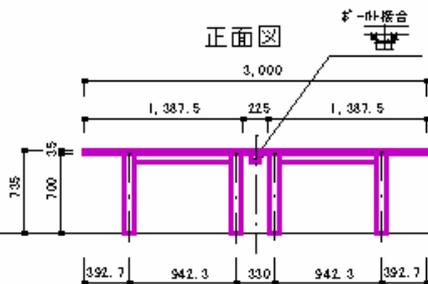


仕様

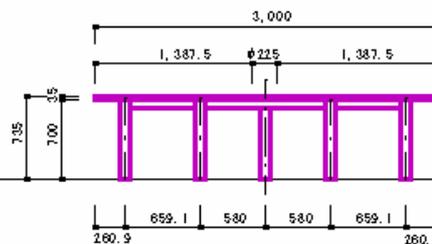
- 天板: ｺﾞﾙﾌ集成材t35
- 脚: φ90, ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾃﾞｯｸ付
- ｼｰﾄﾞ: 2分割
- 塗装: ﾍﾞｰｽﾀﾞｲｸﾞﾗﾌﾞに色合わせ。
- ﾌｯｸ: ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾃﾞｯｸ貼ﾘ地B-04-57ｷﾞ5台
- 納期: 平成20年9月30日目標。



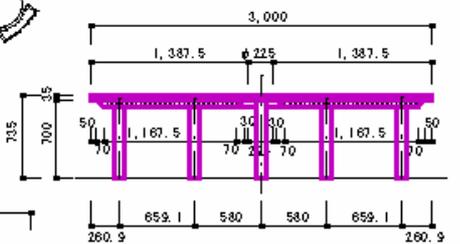
正面図



正面図



ｼﾞｮｲﾝﾄ部断面図



(株) マﾙﾃﾞｲ 家具部
平成20年9月17日



脚：三角トラス組です。
この商品 2 分割でも大変重く、4 人掛かりでのセットでした。



テーブル接合部です。



オープン前の試食会。

このお店は、富士山のよく見える
富士吉田市
うまいもの屋 ひで さんです。



いよいよオープン。

平成 20 年 10 月吉日

(株) マルダイ家具部
鈴木